



# Weねっと



和歌山県介護支援専門員協会 西牟婁田辺支部  
〒646-0028 田辺市高雄1丁目23-1  
(田辺市田辺地域型地域包括支援センター内)

【96号】

令和4年度

4/8号

TEL 0739-26-9906 FAX 0739-25-3994

e-mail [hokatu@city.tanabe.lg.jp](mailto:hokatu@city.tanabe.lg.jp)

## 《2022年住民向け公開講座》

**基調講演「チームで支える糖尿病ケア」** 講師：水本内科クリニック 水本博章 先生

**パネルディスカッション「チームで支える糖尿病ケア」**

パネラー：水本 博章氏（水本内科クリニック 院長）

岡井 明美氏（公益社団法人和歌山県栄養士会 副会長）（和歌山信愛女子短期大学 生活文化学科）

木下 敬子氏（訪問看護ステーション田辺メディカル 看護師）

森川 ゆかり氏（みなべ町社協ふれ愛 主任介護支援専門員）

去る10月1日、田辺市のビッグUにおいて地域住民向けの公開講座が行われた。一般参加者を含め100名程が参加され糖尿病や食事療法に対する関心の高さが伺えた。

第一部の基調講演では、田辺市で糖尿病の専門医としてご活躍されている水本内科クリニックの水本先生が「糖尿病の常識を振り返る」と題し、食事療法をテーマに講演され、糖質制限など食事制限に取り組まれた患者様の事例の説明や、その結果などが紹介された。医療や治療とは時代や臨床研究によって進化していくものであり、今行われている治療方法や内容が常に正しいとは限らない。糖尿病の食事療法やその考え方の常識については今後も再考がなされるべきであると締めくくられた。

第二部では「チームで支える糖尿病ケア～糖尿病患者を支えるチームケアの現場から～」と題されたパネルディスカッションが行われた。壇上では第一部で講師をされた水本先生をはじめ、日本糖尿病療養指導士（CDEJ）の岡井先生や、現場で患者様に関わる訪問看護ステーションの木下看護師、主任ケアマネジャーの森下氏がそれぞれの立場から関わられた対象者の事例について発表された。

発表者の共通の意見として糖尿病やその他の疾患、それに伴う制約があっても自宅で生活したい思いに寄り添いながらチームとしてケアをしていくことが大切だが、そのためには情報の共有やその方法や課題について話し合われた。

最後に「食事」は生活行為そのものである。また糖尿病の療養とは患者の年齢層に応じた対応方法があり、特に高齢者の場合は食事そのものが「楽しみ」や「社会交流」のように意味を持っている場合が多く簡単ではない。単に治療することや血糖値を下げることだけが目的にはならず、制約や制限がありながらも、対象者本人における「食事行為が持つ意味」に関わる関係職種が共通の理解と認識を持って、寄り添いながら支援していくことが大変重要なことであると結論付けられた。

### ■日本介護支援専門員協会 第21回近畿ブロック研究大会 inわかやま協賛について

令和5年2月17日（金）・18日（土）にみなべ町におきまして、「みちびきの地 南紀熊野～出遭い寄り添い 人と未来をつむぐケアマネジメント～」をテーマに大会を開催します。つきましては、本大会の趣旨をご理解の上、大会への協賛を賜りますようお願い申し上げます。

○協賛金 1口 金10,000円

※詳しくは、一般社団法人 和歌山県介護支援専門員協会まで



### 事務連絡

◆Weねっとをはじめとする事務局からの連絡事項は、原則FAXにて行ないます。

その際、以前に送付確認させて頂いた宛先（事業所等）に送信いたしますので、その後は確実にそれぞれの会員のお手元に届くよう事業所内でご配慮お願いいたします。

※送付先変更等は随時、お知らせください。

〽 〽

※たくさんの方が会員になっていただくことで、協会の運営基盤が強化され、研修開催や意見の発信をしていく等の活動が支えられています。お近くに、入会されていない介護支援専門員さんがおられましたら、入会の声掛け、よろしく申し上げます。